1変数多項式の終結式

多項式の係数はいずれも整域 R の元としておく.こうしておくと多項式の係数を商体 $\mathrm{Rat}(R)$ の元として分数に拡張できる.さらに方程式の解は代数閉包 $\overline{\mathrm{Rat}(R)}$ 上で考えられる.もしかしたら R を UFD くらいに仮定しといた方が安全かもしれない.

定義 (終結式). 多項式
$$f(x) = \sum_{i=0}^m a_m x^i$$
 と $g(x) = \sum_{j=0}^n b_n x^j$ $(a_m, b_n \neq 0)$ に対して

を f と g の**シルベスター行列**といい,その行列式

$$resul(f, g) := det(Syl(f, g))$$

を f と g の終結式 (resultant) という. なお,零でない定数 $g(x)=b_0\neq 0$ に対しては

$$\operatorname{Syl}(f, b_0) = \begin{bmatrix} b_0 & & \\ & \ddots & \\ & & b_0 \end{bmatrix}, \quad \operatorname{resul}(f, b_0) = b_0^m$$

と定める. 同様に, $\operatorname{resul}(a_0,g)=a_m^n$ とする. さらに, 零多項式に対しては $\operatorname{resul}(f,0)=\operatorname{resul}(0,g)=0$ と定める.

例 1.
$$f(x) = x^3 + 1$$
, $g(x) = x^2 + 2x + 1$, $h(x) = x^2 + 1$ とする.

2変数多項式の終結式